

科目	観光学概論	担当	松原 隆治	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

日本経済において重要な地位を占める観光産業・旅行業の現状を理解する。

- ・観光と地域の産業振興を理解する。
- ・まちづくりと観光の関わりを理解する。
- ・到達目標:就職のためにも「旅行業務取扱管理者(総合・国内)」の国家資格試験にチャレンジする積極性を身につける。できれば、この資格試験に合格したい。

**【履修注意】**

- ・事前に日本地理・日本史、世界地理・世界史の中学・高校時代の教科書を再読しておくこと。
- ・授業中は積極的に参加すること。遅刻・雑談等、他の学生の迷惑にならないよう心がけること。

**【評価方法】**

日頃の授業態度10%、小レポート40%、期末試験50% で総合的に評価する。

**【試験について】**

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件: 出席条件を満たし、不合格者のうち40点以上のものを対象とする。

**【予習・復習】**

シラバスをもとに、パソコンを利用して予習を行う。また、配布資料等をもとに復習を行うこと。

**【教科書】**

- ・購入教科書なし。

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	観光学とは何か。
2	観光史	観光の歴史、観光の日本史、観光の世界史。
3	観光政策	戦前の観光政策、戦後の観光政策、観光政策の課題。
4	地域観光	地域文化と観光、地場産業と観光、観光振興。
5	景観論	風景、管区資源としての景観
6	観光資源	観光資源とは何か、自然的観光資源、文化的観光資源。
7	観光開発	観光開発、観光開発類型、観光開発の課題。
8	観光施設	観光施設、宿泊施設。
9	観光マーケティング	観光マーケティング、観光みやげ、情報発信。
10	観光事業	観光事業、観光産業、観光経営。
11	旅行業	旅行業史、旅行業のマーケティング
12	宿泊業	宿泊施設の歴史、宿泊事業経営。
13	交通業	鉄道、道路、航空。
14	国際観光	国際観光マーケティング、国際観光地。
15	観光の未来	観光の将来展望。
16	期末試験	復習・確認・総まとめ。